

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名		ごみ収集処理事業				事業期間	— 年度 ～ — 年度								
事業性質区分		新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-1-1	他に関連する基本事業	2-2-1	— —	— —	— —	— —	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)		一般廃棄物収集運搬処理に関し、適正かつ効率的に処理することにより、廃棄物の適正な分別、保管、運搬、再生、処理等を進め、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。							手段 (どのような方法で実現するのか)	収集、運搬等に係る業務を業者に委託することにより実施。処理はクリーンプラザくるくるに搬入する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)		市内の各家庭。							成果 (どのような効果が得られるのか)	各家庭から排出された一般廃棄物を収集、運搬し適正に処理することで生活環境が保全され、公衆衛生の向上が図られる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯			砂川市ごみ処理場に全て搬入していた家庭ごみについて、平成15年4月よりクリーンプラザくるくるに搬入し、リサイクルの推進を図っている。												

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額	38,466,000	38,466,000	38,466,000	115,398,000	38,465,000	38,465,000	38,465,000	115,395,000	38,465,000	38,465,000	38,465,000	38,465,000	153,860,000	384,653,000
		予算計上額	34,892,000	33,425,000	38,488,000	106,805,000	38,462,000	48,636,000	52,278,000	139,376,000					0	246,181,000
		実 績 額	35,837,247	33,363,304	38,402,969	107,603,520	38,399,845	46,153,023		84,552,868					0	192,156,388
	一 般 財 源	計 画 額	95,373,000	95,373,000	95,373,000	286,119,000	95,364,000	95,364,000	95,364,000	286,092,000	95,364,000	95,364,000	95,364,000	95,364,000	381,456,000	953,667,000
		予算計上額	98,948,000	100,415,000	95,429,000	294,792,000	95,367,000	120,593,000	129,624,000	345,584,000					0	640,376,000
		実 績 額	97,928,061	100,250,248	95,219,053	293,397,362	95,211,309	114,435,090		209,646,399					0	503,043,761
	事業費合計	計 画 額	133,839,000	133,839,000	133,839,000	401,517,000	133,829,000	133,829,000	133,829,000	401,487,000	133,829,000	133,829,000	133,829,000	133,829,000	535,316,000	1,338,320,000
		予算計上額	133,840,000	133,840,000	133,917,000	401,597,000	133,829,000	169,229,000	181,902,000	484,960,000	0	0	0	0	0	886,557,000
		実 績 額	133,765,308	133,613,552	133,622,022	401,000,882	133,611,154	160,588,113		294,199,267	0	0	0	0	0	695,200,149
	事業費予算の内容		家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料	家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料	家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料		家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料	家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料	家庭ごみ収集運搬委託料（北中・南地区） 残渣物運搬委託料							
	前年度予算との比較 （増減理由）		残渣運搬委託料の減	前年同額	残渣運搬委託料の増		残渣運搬委託料の減	契約更新のため、単価の見直しによる増	契約更新のため、単価の見直しによる増							
	実績との比較 （増減理由）		残渣運搬経費が予定より減少したことによる減額	残渣運搬経費が予定より減少したことによる減額	残渣運搬経費が予定より減少したことによる減額		残渣運搬経費が予定より減少したことによる減額	労務単価の上昇率が想定より低かったことによる減額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：ごみ収集回数	指標の求め方：ごみを収集した回数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：ごみ収集量	指標の求め方：クリーンプラザくるくるに搬入された量

			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 311 実績値 311	311 311	312 310		310 309	310 309	310		311	311	311	311		
		成果指標 1 (単位/kg)	計画値 3,070,530 実績値 3,121,300	3,022,080 3,049,810	2,982,230 2,928,210		2,926,320 2,835,420	2,878,820 2,750,890	2,830,480		2,790,110	2,734,830	2,687,560	2,640,640		
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない						
		総合評価				良好である				良好である						
			自己分析： 収集内容に変更 は無い。「ク リーンプラザく るくる」へ搬入 される家庭ごみ の委託収集の量 は、前年度と比 べやや減少して いる。	自己分析： 収集内容に変更 は無い。「ク リーンプラザく るくる」へ搬入 される家庭ごみ の委託収集の量 は、前年度と比 べやや減少して いる。	自己分析： 収集内容に変更 は無い。「ク リーンプラザく るくる」へ搬入 される家庭ごみ の委託収集の量 は、前年度と比 べ減少してい る。	判断理由： ごみの収集量は 計画値より若干 多いものの、分 別収集のルール も定着してお り、委託業者と 連携を図り安定 した収集運搬が 行われている事 から良好と判断 した。	自己分析： 収集内容に変更 は無い。「ク リーンプラザく るくる」へ搬入 される家庭ごみ の委託収集の量 は、前年度と比 べ減少してい る。	自己分析： 収集内容に変更 は無い。「ク リーンプラザく るくる」へ搬入 される家庭ごみ の委託収集の量 は、前年度と比 べ減少してい る。	自己分析： ごみの収集量は 計画値を下回っ ていることに加 え、分別収集の ルールも定着し ており、委託業 者と連携を図り 安定した収集運 搬が行われてい る事から「良好 である」と判断 した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 平成30年7月から令和7年6月までの収集運搬契約を委託業者と締結していることから、現行の収集内容を基本的に継続しながら、ごみ収集の状況の変化やより効率的な収集への対応について委託業者と協議を行っていく必要がある。				R8： 令和8年12月から令和18年11月までの収集運搬契約を委託業者と締結したことから、現行の収集内容を基本的に継続しながら、ごみ収集の状況の変化やより効率的な収集への対応について委託業者と協議を行っていく必要がある。				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		ごみ処理場環境管理事業				事業期間	平成12年度 ～ 年度									
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-1-1	他に関連する基本事業	-	-	-	-	-	-	所管課係	市民生活課環境衛生係	
目的 (何のために実施するのか)	水質検査・分析により適正な水質検査を行い周辺地域の環境保全につなげる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	ごみ処理場の水質検査・分析を専門業者に委託する。							
対象 (誰・何を対象としているのか)	ごみ処理場における浸出水（ダイオキシン類等）。							成果 (どのような効果が得られるのか)	適正な水質検査を行うことで、周辺地域住民の理解のもと長期間にわたって、ごみ処理場を運営していくことが可能となる。							
事業開始時の状況・これまでの経緯		(旧処理困難物破碎処理事業) 平成14年10月以前に砂川市ごみ処理場に搬入されたごみは埋立していたが、平成14年10月より砂川地区保健衛生組合の中間処理施設くるくが稼動したことで、ごみ処理場への搬入ごみは粗大ごみだけとなった。 (旧ダイオキシン類水質検査事業) 平成12年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、ダイオキシン類対策特別措置法対象施設(最終処分場)の適切な維持管理(定期検査)を行う。 (旧浸出水放流水質検査事業) 平成12年1月にダイオキシン類対策特別措置法が施行され、ごみ処理場における全室素・カドミウム・鉛・ヒ素・大腸菌群数・地下水電気導電率等(有害三物質等)の検査が義務付けられ、高度の技術と分析機器類を必要とすることから民間の分析機関に委託し適切な維持管理を行っている。														

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	一 般 財 源	計 画 額	1,621,000	2,621,000	2,621,000	6,863,000	2,531,000	4,031,000	4,031,000	10,593,000	4,423,000	4,423,000	4,423,000	4,423,000	17,692,000	35,148,000
		予算計上額	1,621,000	2,763,000	2,469,000	6,853,000	2,531,000	2,707,000	2,949,000	8,187,000					0	15,040,000
		実 績 額	1,839,310	2,742,480	2,292,950	6,874,740	2,289,650	2,465,650		4,755,300					0	11,630,040
	事業費合計	計 画 額	1,621,000	2,621,000	2,621,000	6,863,000	2,531,000	4,031,000	4,031,000	10,593,000	4,423,000	4,423,000	4,423,000	4,423,000	17,692,000	35,148,000
		予算計上額	1,621,000	2,763,000	2,469,000	6,853,000	2,531,000	2,707,000	2,949,000	8,187,000	0	0	0	0	0	15,040,000
		実 績 額	1,839,310	2,742,480	2,292,950	6,874,740	2,289,650	2,465,650	0	4,755,300	0	0	0	0	0	11,630,040
	事業費予算の内容		ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料	ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料	ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料		ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料 モニタリング業務委託	ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料 モニタリング業務委託	ごみ処理場水質検査等委託料 ダイオキシン類検査等委託料 モニタリング業務委託							
			前年同額	ごみ処理場水質検査の回数を増やしたことによる増	調整池清掃を原水ピットのみにしたことによる減		モニタリング業務委託の増	単価見直しによる増	単価見直しによる増							
			検査回数の増による増額 3月補正 220千円	見積り合わせによる減	見積り合わせによる減		見積り合わせによる減	見積り合わせによる減								

[CHECK - ACTION]

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：水質検査測定箇所数				指標の求め方：浸出水検査・ダイオキシン類検査実施箇所数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：基準不適合件数				指標の求め方：基準値を上回った件数									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値	11	11	11		11	11	11		11	11	11	11		
		実績値	11	11	11		11	11									
	成果指標 1 (単位/件)	計画値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0			
		実績値	0	0	0		0	0									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)						達成されている				達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)						変わらない				変わらない					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)						変わらない				変わらない					
		総合評価						良好である				良好である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析			自己分析： ごみ処理場は地域住民の理解を得、連携して維持管理を行っていかねばならない施設であり、環境の悪化を防ぐための整備や検査は管理する自治体の責務である。ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	自己分析： 検査数値は適正であり、ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	自己分析： 検査数値は適正であり、ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	判断理由： ごみ処理場の安定した浸出水処理が実施されていることを把握し、ごみ処理場の維持管理の適正化が図られることから良好と判断した。	自己分析： 検査数値は適正であり、ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	自己分析： 検査数値は適正であり、ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	自己分析： 検査数値は適正であり、ごみ処理場に係る維持管理は適正に行われている。	判断理由： ごみ処理場の安定した浸出水処理が実施されていることを把握し、ごみ処理場の維持管理の適正化が図られることから「良好である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
	今後の方向性						現状のまま継続				現状のまま継続						
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： ごみ処理場の維持管理において、適正な浸出水処理は最も重要なものであり、地域住民の理解を得ていくうえでも、当事業の継続は必要不可欠である。				R8： ごみ処理場の維持管理において、適正な浸出水処理は最も重要なものであり、地域住民の理解を得ていくうえでも、当事業の継続は必要不可欠であることから「現状のまま継続」とした。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名	ごみ処理場環境整備事業				事業期間	令和3年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設	第7期総合計画の位置付け	2-1-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	ごみ処理場の長寿命化							手段 (どのような方法で実現するのか)	建設後20数年経過し、老朽化している施設及び設備の修繕・改修を実施する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	ごみ処理場の施設及び設備。 【参考】建設年：H6年							成果 (どのような効果が得られるのか)	施設及び設備を修繕・改修することにより、周辺地域住民の理解のもと長期間にわたって、ごみ処理場を運営していくことが可能となるとともに、施設等を延命化する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	平成6年より供用開始された砂川市ごみ処理場が2度目の計画延長を迎えるにあたり、今後も継続的に処理を続けていく必要があることから、一般的な施設の耐用年数を大幅に超える使用年数を経過しながら大規模な改修事業を行ってこなかった施設設備の更新を行っていく。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 計	
投入された事業費の推移	国	費	計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	道	費	計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	地方債		計 画 額			0	38,400,000	25,700,000	23,000,000	87,100,000	29,800,000				29,800,000	116,900,000
			予算計上額		17,200,000	46,800,000	64,000,000	38,400,000	41,600,000	49,800,000	129,800,000				0	193,800,000
			実 績 額		17,200,000	46,800,000	64,000,000	38,300,000	41,200,000		79,500,000				0	143,500,000
	その他		計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	一般財源		計 画 額	8,140,000	14,510,000	9,320,000	31,970,000	56,000	29,000	8,526,000	8,611,000	6,027,000		4,092,000	10,119,000	50,700,000
			予算計上額	15,910,000	6,488,000	83,000	22,481,000	56,000	79,000	27,000	162,000				0	22,643,000
			実 績 額	22,781,000	6,000,000	82,000	28,863,000	90,000	50,000		140,000				0	29,003,000
	事業費合計		計 画 額	8,140,000	14,510,000	9,320,000	31,970,000	38,456,000	25,729,000	31,526,000	95,711,000	35,827,000	0	4,092,000	39,919,000	167,600,000
			予算計上額	15,910,000	23,688,000	46,883,000	86,481,000	38,456,000	41,679,000	49,827,000	129,962,000	0	0	0	0	216,443,000
			実 績 額	22,781,000	23,200,000	46,882,000	92,863,000	38,390,000	41,250,000	0	79,640,000	0	0	0	0	172,503,000
	事業費予算の内容		修繕料	修繕料委託料 工事請負費	工事請負費		工事請負費	工事請負費	工事請負費							
	前年度予算との比較 (増減理由)			計画改修及び延命化実施設計業務の実施による増	計画改修の実施による増		工事内容による減	工事内容による増	工事内容による増							
	実績との比較 (増減理由)		緊急修繕による増額 9月補正 6,050千円	見積り合わせによる減	見積り合わせによる減		見積り合わせによる減	見積り合わせによる減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：修繕件数（工事請負件数含む）	指標の求め方：修繕件数（日常的に発生するものであり、将来的な計画値の設定は困難。実績値を把握し、管理する。）
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：施設破損等による事故件数	指標の求め方：施設・設備の破損・故障による事故件数（事故件数は想定外のものであり、計画値は〇と設定している。）

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標1 (単位/件)	計画値														
		実績値	13	12	15		12	17									
	成果指標1 (単位/件)	計画値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0			
		実績値	0	0	0		0	0									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)						達成されている				達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)						変わらない				変わらない					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)						変わらない				変わらない					
		総合評価						極めて良好である				極めて良好である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： ごみ処理場は地域住民の理解を得、連携して維持管理を行っていかねばならない施設であり、環境の悪化を防ぐため恒常的に処理を行わねばならず、整備は管理する自治体の責務である。修繕については、発生しているが計画的な基幹的設備の改修であり、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも継続的な改修が必要である。	自己分析： 計画延長に向けた残余容量調査及び延長後の改修のための実施設計を行った。修繕については発生しているが、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも実施設計の際に行った機能診断及び修繕計画に基づいた継続的な改修が必要である。	自己分析： 前年度作成した実施設計に従った延命化工事を行った。修繕については発生しているが、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも修繕計画に基づいた継続的な改修が必要である。	判断理由： 老朽化した施設設備を適切に更新し、ごみ処理場の安定した浸出水処理が実施されていることから良好と判断した。	自己分析： 令和4年度作成した実施設計に従った延命化工事を行った。修繕については発生しているが、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも修繕計画に基づいた継続的な改修が必要である。	自己分析： 令和4年度作成した実施設計に従った延命化工事を行った。修繕については発生しているが、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも修繕計画に基づいた継続的な改修が必要である。	自己分析： 令和4年度作成した実施設計に従った延命化工事を行った。修繕については発生しているが、施設機能が停止するなどの重大な事故に結びつくような故障は発生していない。今後処理を続けるためにも修繕計画に基づいた継続的な改修が必要である。	判断理由： 令和4年度に作成した実施設計に沿って適切に設備の更新をしており、安定した浸出水処理が実施されていることから、「極めて良好である」と判断した。	自己分析： 令和4年度に作成した実施設計に沿って適切に設備の更新をしており、安定した浸出水処理が実施されていることから、「極めて良好である」と判断した。	自己分析： 令和4年度に作成した実施設計に沿って適切に設備の更新をしており、安定した浸出水処理が実施されていることから、「極めて良好である」と判断した。	自己分析： 令和4年度に作成した実施設計に沿って適切に設備の更新をしており、安定した浸出水処理が実施されていることから、「極めて良好である」と判断した。	判断理由： 令和4年度に作成した実施設計に沿って適切に設備の更新をしており、安定した浸出水処理が実施されていることから、「極めて良好である」と判断した。			
			今後の方向性						現状のまま継続				現状のまま継続				
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： ごみ処理場は一般廃棄物の最終処分場にあたり、施設設備を今後においても適正に維持管理していく必要があることから、当事業の継続は必要不可欠である。				R8： ごみ処理場は一般廃棄物の最終処分場にあたり、施設設備を今後においても適正に維持管理していく必要があることから、当事業の継続は必要不可欠である。				R10： ごみ処理場は一般廃棄物の最終処分場にあたり、施設設備を今後においても適正に維持管理していく必要があることから、当事業の継続は必要不可欠である。					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	廃棄物減量等推進審議会運営事業				事業期間	平成4年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-1-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	市長の諮問に応じて、有識者や福祉、廃棄物処理業者等の団体代表者で構成される廃棄物減量等推進審議会において、有効な廃棄物の減量対策や適正な処理方法に関する有効な意見を集約して、ごみの減量化や適正な処理を推進する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	市で推進しているごみの減量化や適正な処理に関する施策について、廃棄物減量等推進審議会で審議し、意見を集約して市に対して答申する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	廃棄物減量等推進審議会委員。							成果 (どのような効果が得られるのか)	有効なごみの減量化や適正な処理についての施策を円滑に立案する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯		ごみの減量化や適正な処理に関する施策について協議を行うため平成5年度に設置され、年1回の定例開催のほか、必要に応じて臨時で開催している。												

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	186,000	561,000	1,311,000
		予算計上額	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	375,000					0	750,000
		実績額	53,500	40,810	35,500	129,810	40,270	44,920		85,190					0	215,000
	事業費合計	計画額	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	186,000	561,000	1,311,000
		予算計上額	125,000	125,000	125,000	375,000	125,000	125,000	125,000	375,000	0	0	0	0	0	750,000
		実績額	53,500	40,810	35,500	129,810	40,270	44,920	0	85,190	0	0	0	0	0	215,000
	事業費予算の内容		委員報酬 費用弁償	委員報酬 費用弁償	委員報酬 費用弁償		委員報酬 費用弁償	委員報酬 費用弁償	委員報酬 費用弁償							
	前年度予算との比較 (増減理由)		一般廃棄物処理基本計画策定に伴い年間3回としていた開催予定を例年の2回とした減	年間2回の開催予定とし、前年度と同額の予算措置	前年同額		前年同額	前年同額	前年同額							
	実績との比較 (増減理由)		年1回の開催により、未実施1回分の減	年1回の開催により、未実施1回分の減	年1回の開催により、未実施1回分及び欠席委員分の減		年1回の開催により、未実施1回分及び欠席委員分の減	年1回の開催により、未実施1回分及び欠席委員分の減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：審議会開催回数				指標の求め方：回数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：—				指標の求め方：成果指標の設定が困難であることから設定しない									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1	計画値 1	実績値 1			
		成果指標 1 (単位/)	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値			
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない							
		総合評価				良好である				良好である							
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 年 1 回の定例会議を開催し、一般廃棄物の状況、資源ごみ回収の状況、不法投棄対策の実施状況等について、実績を報告し協議を行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染状況拡大により書面会議となった。各家庭及び事業者から排出される一人当たりのごみの量は前年と比べやや減少した。	自己分析： 年 1 回の定例会議を開催し、一般廃棄物の状況、資源ごみ回収の状況、不法投棄対策の実施状況等について、実績を報告し協議を行った。各家庭及び事業者から排出される一人当たりのごみの量は前年と比べやや増加した。	自己分析： 年 1 回の定例会議を開催し、ごみ処理場の計画期間延長に伴う廃棄物処理基本計画の変更について審議を行った。また、一般廃棄物の状況、資源ごみ回収の状況、不法投棄対策の実施状況等について、実績を報告し協議を行った。各家庭及び事業者から排出される一人当たりのごみの量は前年と比べ増加した。	判断理由： 市長の諮問に応じ、ごみの減量化や再資源化などの協議を行う組織であり、有識者や廃棄物処理業者、市民の代表で構成される委員の協議により、ごみ処理業務の適正化が図られていることから良好と判断した。	自己分析： 年 1 回の定例会議を開催し、ごみ処理場の計画期間延長に伴う廃棄物処理基本計画の変更について審議を行った。また、一般廃棄物の状況、資源ごみ回収の状況、不法投棄対策の実施状況等について、実績を報告し協議を行った	自己分析： 年 1 回の定例会議を開催し、ごみ処理場の計画期間延長に伴う廃棄物処理基本計画の変更について審議を行った。また、一般廃棄物の状況、資源ごみ回収の状況、不法投棄対策の実施状況等について、実績を報告し協議を行った。各家庭及び事業者から排出される一人当たりのごみの量は前年と比べやや減少した。	自己分析： 市長の諮問に応じ、ごみの減量化や再資源化などの協議を行う組織であり、有識者や廃棄物処理業者、市民の代表で構成される委員の協議により、ごみ処理業務の適正化が図られていることから「良好である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：			
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： ごみ処理行政の複雑化に伴い、今後とも廃棄物処理における様々な検討が必要な状況であり、当組織体制の継続は必要である。 これまでの当審議会の議題は各種の報告が主なものだったが、更なるごみの減量化・再資源化が求められている現状から、今後ともこれらの問題について審議会委員から積極的に意見が出されるよう審議会の進行に工夫をし、ごみ処理に関する各問題の解決に結び付けていく。				R8： ごみ処理行政の複雑化や各廃棄物処理施設も建設から相当の年数が経過していることから、情勢に柔軟に対応していくため、今後とも廃棄物処理における様々な検討が必要な状況であり当組織体制の継続は必要である。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	資源ごみ団体回収助成事業				事業期間	平成6年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-1-1	他に関連する基本事業	6-2-1	-	-	-	-	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	ごみの減量化・資源化・再利用を図るため、地域ぐるみの資源ごみ団体回収活動を奨励する。							手段 (どのような方法で実現するのか)	奨励金交付を希望する団体は市に登録申請を行う。 回収量により団体回収に1kgあたり、3円、協力業者に1kgあたり1円の奨励金を交付する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	新聞紙、雑誌等の紙類、空き瓶、空き缶類を回収する町内会や子ども会等の団体とその協力業者							成果 (どのような効果が得られるのか)	市民のリサイクル意識の向上と資源ごみの減量化。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	本事業の開始以前は、資源物も含めて一般廃棄物として市が回収して、すべて埋立処分を行っていた。なお、平成14年10月から一般家庭ごみの有料化が開始されている。 また、行政改革により平成20年4月1日から回収団体に対する奨励金の額を、これまでの1kg当り4円から3円に減額している。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	2,606,000	2,606,000	2,606,000	7,818,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	5,925,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	7,900,000	21,643,000
		予算計上額	2,605,000	2,412,000	2,207,000	7,224,000	1,975,000	1,891,000	1,696,000	5,562,000					0	12,786,000
		実績額	1,866,000	1,671,344	1,558,128	5,095,472	1,384,692	1,201,048		2,585,740					0	7,681,212
	事業費合計	計画額	2,606,000	2,606,000	2,606,000	7,818,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	5,925,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	1,975,000	7,900,000	21,643,000
		予算計上額	2,605,000	2,412,000	2,207,000	7,224,000	1,975,000	1,891,000	1,696,000	5,562,000	0	0	0	0	0	12,786,000
		実績額	1,866,000	1,671,344	1,558,128	5,095,472	1,384,692	1,201,048	0	2,585,740	0	0	0	0	0	7,681,212
	事業費予算の内容	団体回収補助金 91団体 3円×651,087kg 4業者 1円×651,087kg	団体回収補助金 91団体 3円×602,963kg 4業者 1円×602,963kg	団体回収補助金 91団体 3円×551,567kg 4業者 1円×551,567kg		団体回収補助金 88団体 3円×493,540kg 4業者 1円×493,540kg	団体回収補助金 88団体 3円×472,738kg 4業者 1円×472,738kg	団体回収補助金 88団体 3円×423,847kg 4業者 1円×423,847kg								
		回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額	回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額	回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額		回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額	回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額	回収量が前年度を下回ると見込まれたため減額								
		補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減	補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減	補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減		補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減	補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減	補助金申請の回収量が予定数量を下回った事による減								

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：交付申請団体数				指標の求め方：団体回収補助金の申請をした団体数								
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：資源ごみ団体回収量				指標の求め方：団体回収により資源回収された量								
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画				第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
事業 業務 事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/団体数)	計画値	91	91	91		91	91	91		91	91	91	91	
		実績値	79	75	74		72	64								
	成果指標 1 (単位/kg)	計画値	649,000	649,000	649,000		649,000	649,000	649,000		649,000	649,000	649,000	649,000		
		実績値	466,518	417,836	389,534		346,173	300,265								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				あまり達成されていない				あまり達成されていない						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				あまり上がっていない				あまり上がっていない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				上がっている				変わらない						
		総合評価				良好である				普通である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも減少している。例年と同じく資源回収団体の構成員が減少していることも原因と思われるが、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により活動を控えた団体により回収金額、補助金共に減っているが、今後も町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも令和2年度に以来新型コロナウイルスの影響により活動を控えた団体により回収金額、補助金共に減っているが、今後も町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、今後も町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	判断理由： 今後とも市民・事業者・行政の協働により、ごみの減量化やリサイクル化を基本とした地域社会づくりに取り組むことは重要なことである。回収量は減少傾向にあるが、市内の資源ごみの約6割が資源回収により回収されている実績から良好と判断した。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、紙類の多くを占めていた新聞・雑誌類が電子化により減ったためと推測される。今後とも町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。諸団体の構成員が減少していることに伴い活動を休止する団体が増えていることが大きな要因と考えられるが、くるくるに搬入される資源ごみ量に対して諸団体で回収しているごみの量の割合は、変わっていないことから「普通である」と判断した。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、紙類の多くを占めていた新聞・雑誌類が電子化により減ったためと推測される。今後とも町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、紙類の多くを占めていた新聞・雑誌類が電子化により減ったためと推測される。今後とも町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、紙類の多くを占めていた新聞・雑誌類が電子化により減ったためと推測される。今後とも町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	自己分析： 計画値に比べ、申請団体数・回収量とも計画値を下回っている。紙類の減少により回収金額、補助金共に減っているが、紙類の多くを占めていた新聞・雑誌類が電子化により減ったためと推測される。今後とも町内会衛生支部長会議などで制度の更なる周知を行い、リサイクルの推進に努めたい。	判断理由： 今後とも事業を継続していく必要があるため、「現状のまま継続」とした。			
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
方向性の判断理由改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： ごみの減量化・再資源化はごみ処理行政を推進し、ごみ処理の経費削減を目指すうえで非常に重要なものである。 現在、当事業は町内会等の団体が自主的な活動を行っており、大きな成果が得られていると思われるが、実施団体の高齢化や構成員の減少、排出するごみの性状などにより回収量が年々減少傾向となっている。 特に全体の9割を占める雑誌・新聞類の量の減少が顕著であるが、電子書籍の普及や購読数の減少によるものと思われる、致し方ないと考えられる。くるくる搬入量の約半分とほぼ同数が直接回収事業者に引き渡されていることは、ごみ処理費の軽減に大きく貢献していると考えられるため、今後とも事業を継続していく必要がある。				R8： ごみの減量化・再資源化はごみ処理行政を推進し、ごみ処理の経費削減を目指すうえで非常に重要なものである。 現在、当事業は町内会等の団体が自主的な活動を行っているが、実施団体の高齢化や構成員の減少、排出するごみの性状などにより回収量が年々減少傾向となっている。 特に全体の9割を占める雑誌・新聞類の量の減少が顕著であるが、電子書籍の普及や購読数の減少によるものと思われる、致し方ないと考えられる。くるくる搬入量の約半分とほぼ同数が直接回収事業者に引き渡されていることは、ごみ処理費の軽減に大きく貢献していると考えられるため、今後とも事業を継続していく必要があるため、「現状のまま継続」とした。				R10： ごみの減量化・再資源化はごみ処理行政を推進し、ごみ処理の経費削減を目指すうえで非常に重要なものである。 現在、当事業は町内会等の団体が自主的な活動を行っているが、実施団体の高齢化や構成員の減少、排出するごみの性状などにより回収量が年々減少傾向となっている。 特に全体の9割を占める雑誌・新聞類の量の減少が顕著であるが、電子書籍の普及や購読数の減少によるものと思われる、致し方ないと考えられる。くるくる搬入量の約半分とほぼ同数が直接回収事業者に引き渡されていることは、ごみ処理費の軽減に大きく貢献していると考えられるため、今後とも事業を継続していく必要があるため、「現状のまま継続」とした。						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：ごみ処理手数料				指標の求め方：指定ごみ袋等処理手数料の収納額									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：間違っって出されたごみ件数				指標の求め方：指定したごみに警告シールを貼り付けた件数									
			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/千円)	計画値 46,150	46,150	46,150		46,150	46,150	46,150		46,150	46,150	46,150	46,150		
		実績値 48,435	46,598	44,679		44,896	41,942									
	成果指標 1 (単位/件)	計画値 2,150	2,085	2,022		1,961	1,902	1,844		1,788	1,734	1,681	1,630			
		実績値 1,504	1,280	1,270		1,120	1,106									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている				ほぼ達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている				上がっている					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				少し上がっている					
		総合評価					普通である				普通である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析		自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ増えたことにより、手数料の収納額が増加した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ減ったことにより、手数料の収納額が減少した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ減ったことにより、手数料の収納額が減少した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	判断理由： 指定ごみ袋や処理券を使用した分別収集は市民に浸透している状況であることから普通と判断した。	自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ減少したが、ごみ袋を市から買い取って販売する店舗が増加したことにより、手数料の収納額が増加した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ減ったことにより、手数料の収納額が減少した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	自己分析： 各販売店における販売枚数が前年に比べ減ったことにより、手数料の収納額が減少した。 また、不適切な排出には警告シールを貼り回収しない件数が前年と比べ減少しており、今後も引き続きごみ出しルールを市民に周知する必要がある。	判断理由： 指定ごみ袋や処理券を使用した分別収集は市民に浸透している状況であることから普通と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 指定袋や処理券を使用した現在の収集方式は、おおむね市民に浸透している状況から継続していく必要があるが、今後、新たなごみの減量化・再資源化につながる取り組みを強化していくことを検討していく。				R8： 指定袋や処理券を使用した現在の収集方式は、おおむね市民に浸透している状況から継続していく必要があるが、近年、当市の外国人口が増加していることから、分別ルールの周知を徹底していく必要があると考えられる。加えて、今後、新たなごみの減量化・再資源化につながる取り組みを強化していくことも検討していく。				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：し尿処理件数	指標の求め方：し尿を収集し、処理施設へ搬入した件数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：し尿収集量	指標の求め方：し尿を収集し、処理施設へ搬入した量

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値 1,250	1,237	1,225		1,212	1,200	1,187		1,175	1,162	1,150	1,137			
		実績値	1,065	1,035	982		997	929									
	成果指標 1 (単位/ℓ)	計画値	912,000	902,880	893,760		884,640	875,520	866,400		857,280	848,160	839,040	829,920			
		実績値	726,000	726,520	712,100		762,300	734,300									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている				少し上がっている							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない							
		総合評価				良好である				良好である							
			自己分析： 下水道や浄化槽の普及、人口減少により、前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 前年に比べし尿処理件数は減少、し尿処理量が若干増加している。	自己分析： 前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	判断理由： し尿の収集・運搬・投入については現在の委託業者により問題なく業務が行われていることから良好と判断した。	自己分析： 前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が増加している。	自己分析： 前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	自己分析： 前年に比べし尿処理件数及びし尿処理量が減少している。	判断理由： し尿の収集・運搬・投入については現在の委託業者により問題なく業務が行われていることから良好と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続							
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 令和5年7月から令和11年8月までの収集運搬契約を委託業者と締結していることから、現行の収集運搬業務を基本的に継続しながら、状況に応じて委託業者と協議を行いながら事業を行っていきたい。				R8： 令和5年7月から令和11年8月までの収集運搬契約を委託業者と締結していることから、現行の収集運搬業務を基本的に継続しながら、状況に応じて委託業者と協議を行いながら事業を行っていきたい。				R10：						